

施策番号	0302		
施策名	課題に直面する青少年の総合的支援の推進		
概要	ニート、ひきこもり等、社会生活を円滑に営むうえでの課題に直面する子ども・若者に対して、個々の状況に応じた総合的・継続的な支援を推進する。		
担当局・部室	文化市民局・共同参画社会推進部	共管局・部室	
上位政策	3 青少年の成長と参加		
施策に関係する 主な分野別計画等	はばたけ未来へ！京都市ユースアクションプランー第3次京都市青少年育成計画ー		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	就職等進路決定者数(人)	-	a	110	98	108	90.7%	b	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		-	a	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答					有効回答 者数	評価
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも言 えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1	青少年がニート（仕事も家事も通学もしていない15歳から概ね34歳までのひと）、不登校などの課題に直面したときに信頼して相談できるところがあり、支援がされている。	5	48	171	120	67	411	d
		1.2%	11.7%	41.6%	29.2%	16.3%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						d



- そう思う
- どちらかと言とうとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言とうとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている						24 年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	b	<input type="checkbox"/> 市民の実感	d			
(重み付けの理由) 課題に直面する青少年という対象者が限られた施策であり、市民の生活実態に施策の効果がすぐには反映されにくい性質があるため、客観指標総合評価を重視する。							24 年度	B
(原因分析) ・客観指標評価については、「農業」を使った「中間的就労」事業に新たに取り組む等、就労体験事業の充実などにより、就職、進学、復学、職業訓練受講等進路決定者数の目標の9割を達成することができたが、わずかに目標値には届かず、b評価となった。 ・市民生活実感評価については、課題に直面した時の相談機関等の情報が一般の方に認知されていないことなどが原因であると考えられ、昨年度に引き続き、d評価となった。							23 年度	C

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	若者サポートステーション	7,450	7,462	かなり良い	文化市民局
2	子ども・若者総合支援事業	61,932	63,111	かなり良い	文化市民局
3	登録サポーターの活用事業	5,377	5,446	良い	文化市民局
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

- ・支援対象者の課題に応じた支援については、他の支援機関との連携強化を図るとともに、青少年活動センターとの連携事業や就労体験事業などをより充実し、支援対象者の就労意識の醸成を図るなど、支援対象者の課題に応じた支援を推進する。
- ・サポステ・学校連携推進事業（厚生労働省認定事業）により、進路の決まっていない学校中退者等をサポステ（京都若者サポートステーション）に確実に結び付け、切れ目のない支援を通じて早期の自立や進路決定を促す。
- ・リーフレットや冊子の活用により、相談機関等の周知・啓発に努める。

施策名	0302	課題に直面する青少年の総合的支援の推進					
指標名	就職等進路決定者数（人）						
担当課	勤労福祉青少年課		連絡先	2 2 2 - 3 2 2 2			
1 指標の説明							
京都若者サポートステーションの支援により，就職，進学，復学，職業訓練受講など，進路決定した者の数							
2 指標の意味							
課題に直面する青少年，とりわけ若年無業者への職業的自立支援の取組成果を示す指標							
3 算出方法・出典等							
出典：事業担当課調べ							
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度	
数値	110	98	12人減	108	国との間で設定した目標値(平成23年度地域若者サポートステーション事業に係る企画書で設定)に準拠	90.7%	
	全国順位	中長期目標			備考	指標変更（平成24年度～） 「新成長戦略」（平成22年6月18日閣議決定）において、2020年までの目標として地域若者サポートステーション事業による就職等進路決定者数が10万人と設され、これに合わせて平成24年度からの国への報告事項（目標進捗管理）が整理されたため、これに準じる。	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準							
達成度が a：100%以上 b：80%以上 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			6 基準説明				
			均等に区分することで基準を設定した。				
7 評価結果							
23	24	25					
-	a	b					